

二田村てるしと歩む会だより

No.2 2006.6 発行 〒915-0031 越前市余川町 31-11 電話27-1837

一人ひとりがずっと輝き続けるまちづくり

- ◇ 働く人々を大切にし、ゆとり・豊かさを実感できるまちをつくります。
- ◇ 温かい心のこもった福祉のまちをつくります。
- ◇ 市民参加で個性と活力のあるまちをつくります。
- ◇ 子どもを安心して生み育てられる環境をつくります。
- ◇ 子どもたちに美しい自然と平和な社会を伝えます。
- ◇ 公正で清潔、信頼できる政治に努めます。

0歳～20歳未満のすべての子どもたちに関する相談窓口を一元化し、貫性と総合性の高い相談支援体制を作りたい。
(グループ提案)

子どもたちの目が輝く、体験・体感・感動の遊び(あそび)を重視した次世代育成をめざしたい。
(40代男性)

労働組合をもたない中小企業労働者や臨時・パート労働者の待遇改善のため、労働組合の設立やユニオンの加入を進めたい。
(40代女性)

団塊の世代の人材が、定年後、地域でスマーズに活躍できるよう、定年退職前からの事前交流事業を開催したい。
(60代男性)

多くの意見をいただきありがとうございました！



みなさんの声を紹介させていただきました。

今後もご意見ご提案をお待ちしています。

電話・ファックス 0778-25-4141

障害をもつ方が地域で生活でき、もつと働けるよう、これまでの福祉サービスや医療助成について、制度を一元化する法律がスタートした。各地で市民学習会が開かれ、内容が明らかになるにつれ、書類審査で障害の現状が本当に把握できるのか、今までのサービスが続けられるのかといった、心配の声もあがつている。今後、市は障害福祉計画を作ることになつてるので、本人が自分らしく生き生きと暮らせる制度になるよう、声を届けていくことが必要だ。

市政にスポット

情報を紹介していきます

障害者自立支援法がスタート

「合計特殊出生率1.25」、「理想の子どもは3人、実際の子どもは2人」のいま、少子化の打開策となるか？

六月議会では、「ふくい3人つ子応援プロジェクト」が検討されている。第3子以降3歳までの一時保育料、すみずみ子育てサポート利用料、病児デイケア保育料、妊婦健診料を無料とし、子育て負担を軽減しようというものだ。提案の中には、三五歳以上の妊婦健診料の無料化も含まれている。

ふくい3人つ子応援プロジェクト

どんなことしてきたの？①

てるしさんの活動を紹介します

越前万歳研究会

「越前万歳」とは、味真野に古くから伝えられた新春の祝福芸である。越前万歳の起源については、繼体天皇や源頼朝にまつわる伝説がある。現在は越前万歳保存会が保存継承している。三田村さんは、職場の仲間と越前万歳研究会を発足し、県内外で公演してきた。ユーモアたっぷりの伝統芸能で地域をアピールしてきた。

労働災害認定闘争

一九八五年十二月、市の男性職員がくも膜下出血により急逝した。三田村さんは、「いのちと健康を守るたたかい」として、遺族や自治労をはじめとする全国の働く仲間とともに、労働災害認定を求める運動に奔走。三年にわたる粘り強い運動の結果、労働災害認定を勝ち取った。仲間の一人ひとりを大切にする運動の原点となる出来事であった。

三田村 輝士

「てるしさん」ってこんな人です！

昭和30年10月20日生
てんびん座、B型
落ち着いた判断力と
熱い正義感をもった人。



好きな言葉は、
「継続は力なり」
「みんなちがって
みんないい」

好きな食べ物は、
刺身、そば、
味噌ラーメン、漬物

特技は、
どこでも、すぐ眠り
元気回復！！

趣味は、
和太鼓、越前万歳、
庭いじりです。

今年もようやく田植えのシーズンが終わった。数年前までは連休前か連休中に田植えを行ったものだが、最近は米の品質確保から遅植が奨励されていて、連休明けに行うようになった。

田植えの後は、機械で植えられなかつたところに補植（手で苗を植えること）をする。昔は全ての田植えを手作業で行つたが、そのときは田植えの前に枠を回し、筋の交わつたところに苗を植えた。その場所が濁つている場合は、周りの筋の状況を見ながら筋の交差している位置を推測して苗を植える。

今では枠を回すことがないので、補植をする場合は周りに植えられている苗の位置を見て、均等になるように苗を植える。稻作の場合は、特に均等にならなくても稻は、それなりに育つものだが、人間社会ではそうはいかない。

周りの状況を見て自分の立場、役割を考えることが大事ではないでしょうか。

自治創想